

(3) 実践例〈3年生〉 「樹脂によるペーパーウェイト制作」

樹脂（プラスチック）は身近な所で様々に姿を変えて目にすることができる。しかし、生徒はどのような過程を経てその姿になっていくかは、あまり知らないのが現状である。また、一つ一つの制作過程は、生徒の発達段階を考えると変化に富み興味・関心を持続させることができるものである。さらに、必修教科で履修した内容とその応用発展の場が用意されていることも意欲を喚起し、作品制作を通しての新しい体験が味わえる題材である。

ア 作品としての樹脂（プラスチック）との新鮮な出会い

毎年実施される白糺祭（文化祭）で展示される作品は、宝石のような美しさと輝きを持ち、鑑賞者を魅了している。思わず手に取り、透かしてみる生を目にする。また、2年生が使用する教室に置かれた制作途中の姿の白く凹みのある石膏型を、生徒は何か不思議な物を見るように興味を持って見ている。このような出会いが、選択「美術」を選ぶ大きな理由となっている。

イ 題材がもたらす成就感

11時間の制作過程の中で、生徒は苦勞と根氣そして充実感を味わう。一つ一つの制作が1時間ごとに様変わりし、常に新鮮な制作意欲を味わえることも大きな理由であろう。

とかく現代の生徒の気質は、「根氣がない、意欲に欠ける」と言われる。しかし、目の前に表れたものが心に響くものであれば必ず意欲を持って取り組むものである。選択教科の授業は、その場であるように思う。

後半の授業は個々が、自由選択として取り組む計画である。前半の一面制約された中での作品作りで得た力をいよいよ自己の課題学習に生かすことがねらいで実施する。



[油土による原型制作]



[完成間近のペーパーウェイト]

美術

〈学習指導案〉

第3学年選択教科「美術」学習指導案

指導者

1 題材名 ペーパーウェイトをつくろう

2 題材設定の理由

- (1) 選択教科のねらいを踏まえた理由として、
- ① 個々の特性（感性・創意工夫・技能）に応じた作品制作ができる。
 - ② 表現制作の喜びを一層深めることができる。
 - ・個々の制作過程は、これまでの制作体験に加えて、発展と応用が混在している。スケッチ、年度制作等の基本から石膏型取り、樹脂成形へと発展的な制作が可能である。
 - ③ 新鮮な出会いがある。
 - ア 多様な道具を使用するため、生徒の技術的興味を喚起し、意欲的に取り組む態度を養える。
 - イ 制作過程が多様であり、一つ一つに味わい深い魅力を持って真剣な制作態度が期待できる。また、主体的・計画的に取り組む力が身に付く。
 - ウ 様々な素材との出会いは、継続的な制作過程の中でも常に緊張感が持続できる。
- (2) 美術かのねらいを踏まえた理由として、
- ① 完成作品の持つ美しさに魅力があり、制作過程が新鮮で興味が尽きない。
 - ② 各素材の特質を生かした発想が期待できる。また、制作工程の内容が一つ一つ明確であり、判断力・集中力・計画力等を育てられる。
 - ③ 各工程に関わる多様な用具の取り扱い方法は、基本的な内容が多いため容易に体得できる。また、それによって一人一人が自身と意欲をもつことにも通じる。
 - ④ 一工程ごとに表現された作品は、その都度お互いに鑑賞できる。また、最終的に仕上げられた作品は、秋の文化祭に全員出品される。相互にあるいは全校生徒の鑑賞の対象となり、成就感と制作意欲の高揚が期待できる。

3 目標

達成目標	評価の観点			
	意欲・態度	発想・構想力	創造技能	鑑賞力
○ 制作過程を通して、課題を主体的にとらえ、自主的・計画的に取り組むことができる。	◎	○		
○ 限られた条件の中で、形態・色彩・封入等に豊かな発想を生かして作品かすることができる。	○	◎	○	
○ 多種多様な素材と道具を適宜正確に取り扱いより効率的に活動できる。	○		◎	
○ 各工程の中で表現された作品（中途作品）の良さをお互いに発見したり、自分の作品に生かすことができる。	○	○		◎

美術

〈年間指導計画表例〉

平成5年度

第3学年 選択美術科年間指導計画表

月	題材名と学習内容・活動	指導内容	備考・準備品
4	1 ペーパーウェイトをつくろう(1) (1) 制作計画 (2) 構想 (3) デザイン決定	○ 選択美術の課題制作についてのオリエンテーションを行い、各自のめあてを設定させる。 ○ 制作の見通しを立てることにより、生徒の活動が自主的・計画的に行えるようにする。 ○ 制作の条件を理解させ、完成作品が予想できる形態にスケッチさせる。	・ 参考作品と資料 ・ 学習計画表
5	(4) 油土原型の制作 (5) 油土原型の完成	○ スケッチをもとにして、油土原型を正確に仕上げさせる。 ・ サイズ、抜け勾配、表面処理等の条件を考慮し、制作させる。	・ 条件：10cm立方以内 ：厚さ2cm以上 ：抜け勾配 ：表面のなめらかさ
6	(6) 石膏型づくり ① 枠づくり ② 石膏流し込み (7) 油土かき出しと石膏型修正	○ 準備の大切さを理解させ、ボール紙による枠を正確に制作させる。 ○ 石膏についての基本的な知識を正しく理解させる。 ・ 石膏型取りの技法を理解させ、グループで協力しながら手際よく作業を進めさせる。 ○ 石膏型を傷めないように慎重にかき出させる。	・ スケッチ用紙(描紙) ・ 油土(100g) ・ 工作用紙(脱脂性) ・ ボール紙(顔料用紙) (1人1枚ずつ配布) ・ ガムテープ(糊) ・ 焼石膏(25kg 2袋) ・ ステンレスボール 8個 ・ ポリバケツ 大2個 ・ ビニールシート、かきばら
7	2 水墨画を味わおう (1) 描画方法の基本 (2) 様々な表現技法 (3) 描画方法の選択と色紙の作品づくり (4) 作品完成と展示	○ 水墨画の基本技法を学ばせ、日本文化や伝統について体験させる。 ○ 描画方法の基本について理解させ、模写させる。 ○ 線描・濃淡による表現について練習させる。 ○ 自分に合った技法を選択させたり、模写作品かオリジナル作品かを選択させて制作を進めさせる。 ○ 作品制作の中での緊張感を味わわせ、最後には昨年度の授業作品の落款を押させて完成させる。	・ 参考作品、資料 ・ 書道用具は個人で準備 ・ 参考資料(人数分印刷) ・ 色紙(1人1枚ずつ) ・ 朱肉
9	3 ペーパーウェイトをつくろう(2) (8) 離型剤塗布 ① ラッカーニス ② ポリビニールアルコール (9) 樹脂流し込み	○ 制作後半の見通しを立て、より自主的に取り組みながら完成を目指すようにさせる。 ○ 樹脂の特徴を理解させ、離型剤の塗布状態が離型に大きく影響することを常に意識させる。 ・ 塗布回数と自分の目で判断させる。	・ 計画表 ・ ラッカーニス(2倍希釈) ・ ニス刷毛(筆) ・ 筆洗い用シンナー ・ ポリビニールアルコール ・ 不飽和ポリエステル樹脂 ・ 粉塵、ボヤ、スチ ・ 洗浄液(アセトン) ・ 促進剤(1~2%濃度) ・ 硬化剤(1~2%濃度)
10	(10) 石膏離型剤削り出し (11) 作品磨き・完成 (12) 展示台づくり (13) 白麗祭展示・鑑賞	○ 役割分担を行い、正確に、安全に留意させる。 ○ 安全な用具の扱いと技法を理解させる。 ○ 仕上げの度合いを選択させ、自分の目と手触りによる判断を大切にさせる。 ○ より良く展示するための発見や工夫をさせる。 ・ 発泡スチロールや木材の端材等の身近な素材に目を向けさせ、活用させる。 ○ 作品を鑑賞し、相互に良さや工夫点を発見させ、今後の生活の中で美術を愛好する心を育てる。	・ のみ、彫刻刀、金槌、木槌 ・ ビニール、カッター(研ぎ出し用) ・ 金エヤスリ ・ 耐水ペーパー(1500、2000番) ・ 研磨剤、ピカール、化繊布 ・ 発泡スチロール ・ カッター ・ 名札、セロテープ ・ ポスターカラー
11	4 自由課題の制作をしよう ・ 木工芸 ・ コスプレ衣装 ・ 彫刻・装飾	○ 自由課題制作についてのオリエンテーション	・ 計画表
12	・ 落款(鑑賞)	○ 自由制作について計画を立てさせ、テーマによる素材、材料、用具の準備等の計画を個別指導する。 ・ 個人で準備することを原則として、主体的に制作に取り組みさせる。	(・ 各自で準備する。 ・ 学校の用具を利用する。
1	・ 写真パネル制作	・ テーマ別にグループ編成し、制作がスムーズに進むようにさせる。	
2	・ ペーパーウェイト ・ 油絵	○ 毎授業ごとに計画表で制作状況を確認させる。	
3	・ 水彩画		

〈評価基準表例〉

■ 平成5年度 第3学年 選択「美術科」観点別評価基準表

■ 題材名：「ペーパーウェイトをつくろう」 (■ 内容：表現) [11] 時間取り扱い		■ 観点別評価基準 (達成十分・A ほぼ達成・B 達成不十分・C)			
時間	■ 学習内容及び活動	関心・意欲・態度	発想力・構想力	創造的な技能	鑑賞の能力
1	①制作計画 ・素材の知識 ・見直しを立てる	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に挙手発表する。 説明を集中して聞こうとする。 計画表や資料の活用をしようとする。 用具、資料の準備ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画表に分かりやすくまとめられる。 樹脂についての知識が理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各素材の特性を基にして、手順や留意点がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 工芸作品を日常生活の中でとらえ、尊重する。
2	②構想1 ・条件の理解	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に挙手発表がある。 スケッチを多く描こうとする 構想の文章化をしようとする スケッチに集中できる。 用具、資料の準備ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> 素材の条件を基にして、イメージ豊かに発想できる。 構想について挙手、発表できる。 構想を文章として表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 制作条件が理解できる。 構想を分かりやすくスケッチに表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品の良さを味わい制作に生かそうとする。 参考作品の良さや特色を理解する。
3	③構想2 ・テーマ決定 ・原型のスケッチ				
4	④油土原型の制作1	<ul style="list-style-type: none"> 計画表でめあての確認ができる。 説明を真剣に聞こうとする。 用具、資料の準備ができています。 油土制作に集中できる。 完成段階を判断しようとする。 自主的に次の制作に進もうとする 	<ul style="list-style-type: none"> スケッチを生かしながら制作できる。 油土の肌触りを触角的に把握し、文章で表現できる 	<ul style="list-style-type: none"> 手順を理解して制作できる 用具の扱いや手の動きに工夫がある。 計画変更の場面にも適宜工夫改善できる。 表面処理が適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品の良さを味わうことができる。
5	⑤油土原型制作2 ・完成				
6	⑥石膏型作り ・枠作り ・石膏流込み	<ul style="list-style-type: none"> 用具の準備ができています。 説明を真剣に聞こうとする。 作業の役割分担を果たそうとし、協力しようとする。 自主的に次の制作に進もうとする。 片付け作業を自主的に行なおうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 枠作りを慎重に行なう意味を理解できる。 石膏の硬化について、視覚や触角で味わうことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 枠作りが条件通りにできる。 ボール紙、カッター、ガムテープ等の用具の扱い方を工夫してできる。 石膏ときを正しく行ない、能率よく流し込むことができる。 失敗した時の工夫ができる。 	
7	⑦油土かき出しと石膏型修正	<ul style="list-style-type: none"> 用具の準備ができています。 説明を真剣に聞こうとする。 手順に従い、自主的に制作しようとする。 片付け作業を自主的に行なおうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 石膏成型と樹脂作品の関係が理解できる。 修正箇所を自分で判断できる。 修正の度合いを手触りと目で確認できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 用具の扱い方を適切に行い成型を傷つけずに作業できる。 修正方法に従い、作業を進めることができる。 失敗した時の工夫ができる。 	
8	⑧成型剤塗布 ・1液 ・2液 [樹脂流し込みの試作品作り]	<ul style="list-style-type: none"> 用具の準備ができています。 手順に従い、自主的に制作しようとする。 作業の役割分担を果たそうとし、協力しようとする。 安全に留意して作業をすすめようとする。 樹脂体験を生かそうとしている。 片付け作業を自主的に行なおうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 塗布状態を回数や目で確認し、終了を適切に判断できる。 封入の工夫ができる。 新鮮な色彩構想や着想が浮かぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 種々の用具の扱い方が適切にできる。 手順に従い、正しく作業を行なうことができる。 簡易の樹脂作品を仕上げられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 流し込み作品の良さを味わうことができる。 樹脂の特性を味わうことができる。
9	⑨樹脂の流し込み		<ul style="list-style-type: none"> 新たに新鮮な色彩構想や着想が浮かぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 種々の用具の扱い方が適切にできる。 手順に従い、正しく作業を行なうことができる。 安全に留意して割出しができる。 色彩構想や封入の工夫、応用ができる 	
10	⑩石膏成型の割出し	<ul style="list-style-type: none"> 用具を丁寧に扱おうとする。 手順に従い、自主的に制作しようとする。 安全に留意して作業をすすめようとする。 片付け作業を自主的に行なおうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 作業の進み具合を見ながら、自己判断して慎重に割出すことができる。 磨き仕上げの構想を練り、計画を立てることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕上がり段階に応じて、用具の使い分けが正しくできる。 安全に留意して割出しができる。 色彩構想や封入の工夫、応用ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 石膏から現れてきた樹脂作品の素材の美しさを目や手で味わうことができる。
11	⑪作品の磨き仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> 用具の準備ができています。 手順に従い、自主的に制作しようとする。 仕上がっていく作品を見ながらより良くしようとする。 集中して制作を進めようとする。 次の段階に進めようとして意欲的に取り組むようとする。 片付け作業を自主的に行なおうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕上げの段階を目や手触りによって自己判断できる。 新たな発想を大切に仕上げることができる 題名や展示台の工夫について構想を練ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕上がり段階に応じて、用具の使い分けが正しくできる。 表面の処理を工夫して仕上げることができる。 割出しの失敗(凹凸、破損)を生かして工夫しながら完成できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕上がっていく作品の美しさを感じ取ることができる 自他の作品に観しみをもち、大切にできる

